

隅田川七福神 参拝のご案内

江戸文化年間に開闢された隅田川七福神は、七福神めぐりの始まりとして長いあいだ善男善女のお正月の楽しみとなつてきました。昨今、隅田川七福神をご参拝になられる皆様から、よくいただき、楽しく隅田川七福神をご参拝いただけますよう願っております。

お参りの方法は？

A 元旦から七草（七日）までをご開帳としております。

江戸から伝わる参拝方法は、各寺社で神様のご分体をお請けし、お集めになつたご分体を宝舟にお乗せしておまつりください。宝舟は、三囲神社か多聞寺でお請け下さい。神様の並べ方に定めはございませんが、ご信心やお願いをかける神様を先頭に、背の低い神様を前とする方が多いようです。宝舟をおまつりいたく場所は、神棚や仏壇をはじめ、福を招くことから、店先や玄関など、また、民芸品等と人形ケースに飾る方もいらっしゃいます。



ご集印つて？

ご参拝のお印として



ご開帳の間、ご集印帳や色紙に各寺社で七福神の御神号・御朱印を揮毫していました。朱印を揮毫していくた
だくことができます。ご希望の方は各寺社の受付にお申し出ください。その際、取り違いを防ぐため、事前にご集印帳の表紙や色紙の裏に必ずお名前等をお記しください。隅田川七福神の寄せ書き用色紙は、多聞寺・三囲神社などでお分けしております。

(集印は、午前九時～午後四時頃迄。
百花園開園時間は、午前九時～午後五時迄。
ご注意ください。)

隅田川七福会

A Q

A Q

本尊の毘沙門天は弘法大師の作と伝えられた童子が狸を懲らしめ救つたといふ伝説がつた

毘沙門天(多聞寺)

昔、村人達は、本堂の前に住む狸の悪戯に悩んでいた。その村人を毘沙門天門下の禪尼が救つた

寿老神(白鬚神社)

昔の猿田彦命は道案内の守り神といふこと

もたらす。大明寿老川が生まれる。千客万来、商売繁盛の大明寿老川が生まる。神棚や

福禄寿尊(百花園)

福案でもある江戸元年(一八〇四)に開かれた百花園に集

たに福禄寿尊(百花園)は、七福神の一つで、福の象徴である。本尊は、七福神巡りが代表する文化達の発

弁財天(長命寺)

三代将軍家光が、鷹狩り途中の腹痛を、寺

がお使財天は河へ水(へ水)の神とされ、寺号も長命寺とから。長内選ばれ、神巳の日に参拝する風習

布袋尊(弘福寺)

命の水井戸で薬を服用し快癒したことから、寺

がお使財天は河へ水(へ水)の神とされ、寺号も長命寺とから。長内選ばれ、神巳の日に参拝する風習

大國神

黄檗宗で中国風の特色を持つ禅宗建物。布袋

も偲咳弥勒の勒の七福神の中唯一実在した中国の禅僧で、強ひ刻婆化身像といわゆる。両親を

恵比寿神(三囲神社)

弘法大師創建の由来を持つ

大國らを、た寺も惠み白祠の僧源慶が再建しが弘法大師創建の由来を持つ。この周

約300m

約50m

約1000m

約200m

約1500m